

- 40) 中屋 博, 山本文昭, 松村猶子: 当科におけるトラベクトミーの手術成績. 第5回富山眼科集談会, 1982, 6, 富山.
- 41) 石田俊郎, 中村泰久: 涙嚢鼻涙管およびその周辺のCT所見. 第20回北日本眼科学会, 1982, 7, 福島.
- 42) 石田俊郎, 中村泰久: 眼窩壁骨折におけるCT所見について. 第79回中日四国眼科学会, 1982, 8, 岡山.
- 43) 石田俊郎, 中村泰久: 眼窩疾患外来における統計的観察. 第36回北陸医学会眼科分科会, 1982, 9, 富山.
- 44) 石田俊郎, 山田祐司: 当教室における最近3年間の乾性角膜炎の統計. 第5回富山眼科集談会, 1982, 6, 富山.
- 45) 石田俊郎, 中村泰久: 当科における視神経炎の統計的観察. 第6回富山眼科集談会, 1982, 12, 富山.
- 46) 氷見由美子, 田辺千賀子: 内斜視に対する両眼視機能訓練の治療効果について. 第5回富山眼科集談会, 1982, 6, 富山.
- 47) 氷見由美子, 田辺千賀子: 内斜視の両眼視機能訓練の治療効果について. 日本視能訓練士協会第20回研究会, 1982, 6, 広島.

- 秀一, 細川 智, 後藤京子, 山崎晴子: 末梢性前庭機能異常症例の神経耳科学的臨床統計 (メニエール病, 良性発作性頭位めまい, 突発性難聴を中心に) 耳鼻臨床 75: 増1, 172-186, 1982.
- 3) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 吉田行夫, 大野吉昭: 髄膜炎後にみられた両側前庭機能高度低下例 (Jumbling 現象) 耳鼻臨床 75: 増1, 255-259, 1982.
- 4) 水越鉄理: メニエール病調査研究班の疫学的研究 (昭和52年~54年度) 耳鼻臨床 75: 増3, 1145-1149, 1982.
- 5) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 大野吉昭, 渡辺 勲, 大久保 仁: 厚生省特定疾患メニエール病調査研究班によるメニエール病初期症例の追跡調査成績. 耳鼻臨床 75: 増3, 1150-1164, 1982.
- 6) 渡辺 勲, 大久保 仁, 奥 常幸, 水越鉄理, 渡辺行雄, 松永 享, 佐野光仁, 松永 喬, 調重昭, 武藤次郎, 高橋妙子, 高安助次, 香取早苗, 石川和光, 鶴木秀太郎, 山本昌彦, 増田康一, 水津百合子, 田中恒男, 菅田勝也: 末梢性耳性めまい症例に対する ATP の薬量効果の検討 (二重盲検試験による用量別薬効の検定). 耳鼻臨床 75: 2, 393-415, 1982.
- 7) 松永 喬, 水越鉄理, 松永 享, 佐野光仁, 水津百合子, 前田和雄, 高安助次, 香取早苗: めまいに対する ATP 顆粒の臨床的効果—ATP 300mg と 30mg との群間比較—. 耳鼻臨床 75: 8, 1711-1726, 1982.
- 8) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 吉田行夫, 大野吉昭: メニエール病に対するグリセロール静注試験について. 耳鼻臨床 75: 増5, 2278-2284, 1982.
- 9) 渡辺行雄, 水越鉄理, 大橋直樹, 小林英人, 沢 昌代: Galvanic body-sway test の電子計算機による分析. 耳鼻臨床 75: 増5, 2350-2354, 1982.
- 10) 水越鉄理, 渡辺行雄, 渡辺 勲, 大久保 仁, 松永 享, 松永 喬, 高安助次: メニエール病を中心とした末梢性耳性めまいに対する薬効検定の問題点. 耳鼻臨床 75: 増5, 2329-2336, 1982.
- 11) 小林英人, 大野吉昭, 吉田行夫, 水越鉄理: 慢性関節シウマチ (RA) 患者の tympanometry. 臨床耳科 9: 126-127, 1982.
- 12) 大野吉昭: 音響性アプミ骨筋反射の潜伏時間の測定. 臨床耳科 9: 378-379, 1982.
- 13) 吉田行夫, 大野吉昭, 麻生 伸, 大井秀哉, 将積日出夫, 水越鉄理: 聴・平衡障害をともなった

耳鼻咽喉科学

教授 水越鉄理
 助教授 渡辺行雄
 (大野吉昭)
 講師 大橋直樹
 助手 小林英人
 助手 麻生伸
 助手 吉田行夫
 助手 大井秀哉
 文部技官 武田精一

◆ 著 書

1) 水越鉄理: 乗物酔い (動揺病). 「今日の治療指針, 1982年版」1105, 医学書院, 1982.

◆ 原 著

- 1) Kato I., Nakamura T., Koike Y. and Watanabe Y.: Computer analysis of fixation suppression of caloric nystagmus. ORL (Basel) 44: 277. 1982.
- 2) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 大野吉昭, 小林英人, 吉田行夫, 石川和光, 伊藤享子, 五十嵐

Heerfoldt 症候群の一例, *Audiology Japan* 35: 255-256, 1982.

14) 麻生 伸, 大野吉昭, 吉田行夫, 将積日出夫, 武田精一, 水越鉄理: 言語発達遲滞を伴う難聴児の検討, *Audiology Japan* 25: 511-512, 1982.

15) 小林英人, 大野吉昭, 渡辺行雄, 吉田行夫, 水越鉄理: 先天性食道 Web — その臨床と文献的考察一, *日気食会報* 33: 4, 453-456, 1982.

16) 大橋直樹, 水越鉄理, 渡辺行雄, 小林英人: 連続可変周期による滑動性眼運動検査の試み, *Equilibrium Res. Jpn.* 41: 112-119, 1982.

17) 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理, 黒田京子: 滑動性眼運動分析—正弦波刺激と三角波刺激との定量的比較検討一, *Equilibrium Res. Jpn.* 41: 242-245, 1982.

18) 吉田行夫, 大野吉昭, 小林英人, 麻生 伸, 水越鉄理: Heerfoldt 症候群の 1 例, *Facial N. Res. Jpn.* 2: 99-102, 1982.

19) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人: 眼振計 (ENG) の自動分析システム. 水俣病に関する総合的研究 (昭和56年度報告) 日本公衆衛生協会, 38-44, 1982.

20) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 大野吉昭, 小林英人: 加速度振子様回転刺激による視運動性・前庭性動眼反射検査装置の開発. 水俣病審査促進に関する研究報告書 (昭和55年度報告), 日本公衆衛生協会, 131-141, 1981.

21) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 沢 昌代: Galvanic body-sway test の定量的分析. 水俣病審査促進に関する研究報告書 (昭和56年度報告) 日本公衆衛生協会, 89-93, 1982.

22) 水越鉄理, 渡辺行雄, 小林英人, 大野吉昭: メニエール病に対するグリセロール静注検査について. 前庭機能異常調査研究班昭和56年度報告書, 38-44, 1982.

23) 水越鉄理, 渡辺行雄, 渡辺 勲, 大久保 仁, 松永 享, 松永 喬, 高安助次: メニエール病を中心とした末梢性耳性めまいに対する薬効検定の問題点. 前庭機能異常調査研究班昭和56年度報告書, 89-96, 1982.

24) 渡辺行雄, 水越鉄理, 大橋直樹, 小林英人, 沢 昌代: Galvanic body-sway test の電算機による分析. 前庭機能異常調査研究班昭和56年度報告書, 110-114, 1982.

25) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人: 直立時の重心動揺に対する振子様視運動性刺激の効果について. *日耳鼻* 85: 1220-1221, 1982.

26) 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理, 小林英人: 連続可変正弦波による水平滑動性眼運動の分析. *日耳鼻* 85: 1161-1162, 1982.

27) 渡辺行雄, 水越鉄理, 大橋直樹, 小林英人: 電子計算機を導入した平衡機能検査の実際 (映画12分). *日耳鼻* 85: 1367-1368, 1982.

28) 加藤 功, 渡辺 仁, 中村 正, 原田浩二, 長谷川智彦, 木村 洋, 小池吉郎, 川崎 匡, 佐藤悠, 水越鉄理: 基礎的・臨床的所見よりみた温度性眼振に対する固視による抑制効果の診断価値. *日耳鼻* 85: 1181-1183, 1982.

29) 麻生 伸, 青柳 優, 木村 洋, 小池吉郎: Relapsing Polychondritis 症例報告と蝸電図所見. *日耳鼻* 85: 1332, 1982.

◆ 総 説

1) 水越鉄理: めまい—その成因. 診断と治療. めまいの診断3) 中枢性めまいの診断. *医学と薬学* 7: 983-989, 1982.

◆ その他

1) 水越鉄理, 二木 隆: 第8回バラニー学会印象記, Diagnosis of intracranial pathology by neuro-otological approaches. 演題: 30-39. *耳鼻臨床* 75: 2124-2127, 1982.

2) 渡辺行雄, 徳増厚二: 第8回バラニー学会印象記, Diagnosis of intracranial pathology by neuro-otological approaches. 演題: 40-48. *耳鼻臨床* 75: 2128-2130, 1982.

3) 猪 初男, 水越鉄理: “医心人心” 猪 初男先生に聞く. *MEDIC* 17: 12, 13-19, 1982.

◆ 学会報告

1) Mizukoshi K., Watanabe Y., Ohashi N. and Kobayashi H.: Computer analysis of posturography. (With special reference to pendular optokinetic stimulation and to galvanic stimulation.) The Scientific Congress of IXth NES Meeting, 1982, 3, Badkissingen.

2) Watanabe Y., Mizukoshi K., Ohashi N. and Kobayashi I.: Computer analysis of ENG (12minutes, 16mm film). The Scientific Congress of IXth NES Meeting, 1982, 3, Badkissingen.

3) Watanabe Y. and Mizukoshi K.: Computer analysis of ENG recordings in routine equilibrium examinations. The 8th Extraordinary Meeting of the Barany Society, 1982, 6, Basel.

4) Mizukoshi K. and Watanabe Y.: Subjective and objective evaluation of medical treatment in Meniere's disease. —With special referen-

ce to the dose response for adenosine triphosphate. The 8th Extraordinary Meeting of the Barany Society, 1982, 6, Basel.

5) Mizukoshi K., Watanabe Y., Kobayashi H. and Watanabe I.: Workshop Period III, VI, "Current Concepts and Treatment of Meniere's Disease in Japan." Epidemiological clinical follow-up survey on definite cases of Meniere's disease collected during 1979 from seventeen members of the Meniere's Disease Research Committee of Japan." The 1st International Symposium and Workshops on Surgery of the Inner Ear. 1982, 8, Snowmass-Aspen, U. S. A.

6) 麻生 伸, 大野吉昭, 吉田行夫, 将積日出夫, 水越鉄理: 言語発達遅滞を伴う難聴児の検討。第27回オージオロジー学会, 1982, 10, 東京。

7) 吉田行夫, 大野吉昭, 小林英人, 麻生 伸, 大井秀哉, 将積日出夫, 武田精一, 水越鉄理: 聴・平衡障害を伴った Heerfoldt 症候群の一例。第27回オージオロジー学会, 1982, 10, 東京。

8) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 吉田行夫, 大井秀哉, 将積日出夫: マイコン制御による自動的滑動性・衝動性眼運動誘発装置について。第41回日本平衡神経科学会, 1982, 9, 山形。

9) 渡辺行雄: パネルディスカッション "平衡神経科学における Computer 活用の将来" ENG 検査の自動分析。第41回日本平衡神経学会, 1982, 9, 山形。

10) 小林英人, 渡辺行雄, 大橋直樹, 水越鉄理: 視運動性前庭性動眼反射の定量的分析一病的症例の検討1)一。第41回日本平衡神経科学会, 1982, 9, 山形。

11) 水越鉄理: 前日のまとめB会場(No.34-69)。第41回日本平衡神経科学会, 1982, 9, 山形。

12) 大橋直樹, 渡辺行雄, 武田精一, 小林英人, 水越鉄理: 連続可変正弦波による滑動性眼運動の分析, 病的症例での分析。第41回日本平衡神経学会, 1982, 9, 山形。

13) 高邑謹子, 渡辺行雄, 大橋直樹: ENG 自動分析において記録分析条件が分析結果に与える影響について(特に, 高速な眼運動についての問題)第41回日本平衡神経科学会, 1982, 9, 山形。

14) 将積日出夫, 大井秀哉, 小林英人, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理, 井上雄吉: Pseudothalamic Syndrome を呈した橋出血の神経耳科学的所見。第41回日本平衡神経科学会, 1982, 9, 山形。

15) 武田精一, 大橋直樹, 渡辺行雄, 小林英人,

水越鉄理: シェロンテストの自動分析。第41回日本平衡神経科学会, 1982, 9, 山形。

16) 沢 昌代, 渡辺行雄, 大橋直樹, 水越鉄理: Galvanic body-sway test の電子計算機による分析。第41回日本平衡神経科学会, 1982, 9, 山形。

17) 五十嵐秀一, 松本好弘, 小出千秋, 中野雄一, 渡辺行雄: 衝動性眼球運動の速度パターンの検討一正常所見および異常所見の比較検討一。第41回日本平衡神経科学会, 1982, 9, 山形。

18) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 大野吉昭, 麻生 伸, 吉田行夫: メニエール病に対するグリセロール試験の効果について。第10回日本臨床耳科学会, 1982, 10, 福島。

19) 麻生 伸, 大野吉昭, 吉田行夫, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 水越鉄理: 一側性内耳奇型の検討。第41回日本臨床耳科学会, 1982, 10, 福島。

20) 大橋直樹, 渡辺行雄, 大野吉昭, 小林英人, 麻生 伸, 吉田行夫, 水越鉄理: Cisplatin+PEP 療法が有効であった下咽頭腫瘍の一例。第34回日本気食学会, 1982, 11, 東京。

21) 吉田行夫, 大野吉昭, 麻生 伸, 水越鉄理: Heerfoldt 症候群の1例。第5回顔神研究会, 1982, 6, 神戸。

22) 大橋直樹, 渡辺行雄, 小林英人, 大井秀哉, 将積日出夫, 水越鉄理: 耳鼻咽喉科領域におけるマイコンの利用。第20回耳鼻中部地方連合会, 1982, 7, 浜松。

23) 小林英人, 渡辺行雄, 大橋直樹, 大野吉昭, 吉田行夫, 将積日出夫, 水越鉄理, 井上雄吉, 杉本恒明: Pseudo-thalamic Syndrome を呈した橋出血の神経耳科学的所見, 第20回耳鼻中部地方連合会, 1982, 7, 浜松。

24) 麻生 伸, 大野吉昭, 吉田行夫, 大橋直樹, 小林英人, 渡辺行雄, 水越鉄理: 中枢神経障害における ABR。第227回耳鼻北陸地方連合会, 1983, 3, 金沢。

25) 大野吉昭, 大橋直樹, 小林英人, 吉田行夫, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理: 上顎より発生した Ewing 肉腫と思われる一例。第227回耳鼻北陸地方連合会, 1982, 3, 金沢。

26) 吉田行夫, 大野吉昭, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 麻生 伸, 水越鉄理: Heerfoldt 症候群(症例と文献的考察)。第228回耳鼻北陸地方連合会, 1982, 6, 金沢。

27) 大橋直樹, 大野吉昭, 渡辺行雄, 小林英人, 麻生 伸, 水越鉄理: Cisplatin と PEP 療法が有効であった下咽頭腫瘍の一例。第228回耳鼻北陸地方

連合会, 1982, 6, 金沢.

28) 渡辺行雄, 水越鉄理, 大橋直樹, 小林英人, 吉田行夫, 将積日出夫, 大井秀哉: 電子計算機による平衡機能検査の実際(映画). 第36回北陸医学会(第229回日耳鼻北陸地方連合会), 1982, 9, 富山.

29) 大井秀哉, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 沢 昌代, 将積日出夫, 水越鉄理: 電算機利用による Galvanic body-sway test の実際. 第36回北陸医学会(第229回日耳鼻北陸地方連合会), 1982, 9, 富山.

30) 麻生 伸, 吉田行夫, 大井秀哉, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 将積日出夫, 水越鉄理: 突発的に聴・平衡障害を来した小脳出血の1例. 第230回日耳鼻北陸地方連合会, 1982, 12, 金沢.

31) 将積日出夫, 大井秀哉, 浅井正嗣, 吉田行夫, 麻生 伸, 大橋直樹, 渡辺行雄: 開院後三年間の当科患者の動向について. 第230回日耳鼻北陸地方連合会, 1982, 12, 金沢.

32) 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 沢 昌代, 水越鉄理: コンピューター処理による Galvanic body-sway test. 第15回日耳鼻新潟県地方部会, 1982, 12, 新潟.

33) 大橋直樹, 大野吉昭, 渡辺行雄, 小林英人, 麻生 伸, 吉田行夫, 将積日出夫, 大井秀哉, 水越鉄理: 当科における頭頸部腫瘍の現況. 第1回北陸頭頸部腫瘍懇話会, 1982, 7, 富山.

34) 水越鉄理, 渡辺行雄, 小林英人, 大野吉昭: メニエール病に対するグリセロール静注検査について. 厚生省前庭機能異常調査研究班昭和56年度総会, 1982, 2, 京都.

35) 水越鉄理, 渡辺行雄, 渡辺 勲, 大久保 仁, 松永 享, 松永 喬, 高安助次: メニエール病を中心とした末梢性耳性めまいに対する薬効検定の問題点(ATRによる薬量効果判定を中心に). 厚生省前庭機能異常調査研究会昭和56年度総会, 1982, 2, 京都.

30) 渡辺行雄, 水越鉄理, 大橋直樹, 小林英人, 沢 昌代: Galvanic body-sway test の電算機による分析. 厚生省前庭機能異常調査研究班昭和56年度総会, 1982, 2, 京都.

37) 渡辺 勲, 大久保 仁, 池田光久, 水越鉄理, 渡辺行雄: 疫学分科会共同予備調査結果の報告. 厚生省前庭機能異常調査研究班総会, 1982, 2, 京都.

38) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人: 眼振計(ENG)検査の自動分析システム(映画12分). 水俣病の総合的研究会, 1982, 2, 東京.

39) 水越鉄理: 水俣病の総合研究ワークショップ.

耳鼻科研究の総括と展望. 昭和57年度水俣病総合研究会, 1982, 7, 東京.

40) 水越鉄理: 神経耳科学概論. 防衛医大耳鼻科研修会, 1982, 2, 所沢.

41) 水越鉄理: メニエール病とその周辺疾患. 国立金沢病院耳鼻科研修会, 1982, 9, 水見.

42) 水越鉄理: 突発性難聴をめぐる問題点. 上越市医師会研修会, 1982, 10, 上越.

43) Watanabe Y., Ohashi N., Kobayashi H., Ohi H., Sawa M. and Mizukoshi K.: Computer analysis of galvanic body-sway test. The 3rd Symposium on Postural Reflex and Body Equilibrium, 1982, 8, Nara.

44) 水越鉄理, 渡辺行雄, 渡辺 勲, 大久保 仁, 松永 享, 松永 喬, 高安助次, 桧 学, 時田 喬, 小松崎 篤: 末梢性耳性めまいに対する薬効検定の問題点, 第44回耳鼻臨床総会, 1982, 10, 松山.

45) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人: 直立時の重心動揺に対する振り様視運動性刺激の効果について. 第83回日耳鼻総会, 1982, 5, 盛岡.

46) 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理, 小林英人: 連続可変正弦波による水平滑動性眼運動の分析. 第83回日耳鼻総会, 1982, 5, 盛岡.

47) 渡辺行雄, 水越鉄理, 大橋直樹, 小林英人: 電子計算機を導入した平衡機能検査の実際(映画12分). 第83回日耳鼻総会, 1982, 5, 盛岡.

48) 加藤 功, 渡辺 仁, 中村 正, 原田浩二, 長谷川智彦, 本村 洋, 小池吉郎, 川崎 匡, 佐藤 悠, 水越鉄理: 基礎的・臨床的所見よりみた温度性眼振に対する固視による抑制効果の診断価値. 第83回日耳鼻総会, 1982, 5, 盛岡.

49) 麻生 伸, 青柳 優, 木村 洋, 小池吉郎: Relapsing Polychondritis 症例報告と蝸電図所見. 第83回日耳鼻総会, 1982, 5, 盛岡.